平成25年２月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年10月５日

上場会社名　　株式会社ジュンテンドー　　上場取引所　東
コード番号　　9835　　ＵＲＬ　http://www.juntendo.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）飯塚　正
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　　（氏名）神田　恭治　　ＴＥＬ　0856-24-2400

四半期報告書提出予定日　　平成24年10月12日　　配当支払開始予定日　平成24年11月22日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年２月期第２四半期の業績（平成24年３月１日～平成24年８月31日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第２四半期	24,221	－	521	－	448	－	208	－
24年２月期第２四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第２四半期	10.32	－
24年２月期第２四半期	－	－

（注）平成24年2月期第2四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年２月期第２四半期	34,794	11,043	31.7	546.99
24年２月期	33,865	10,884	32.1	539.05

（参考）自己資本　　25年２月期第２四半期　　11,043百万円　　24年２月期　　10,884百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	－	2.00	－	2.00	4.00
25年２月期	－	2.00			
25年２月期（予想）			－	2.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年２月期の業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	2.7	670	△13.1	500	△22.6	100	1.0	4.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期２Ｑ	20,827,911株	24年２月期	20,827,911株
②　期末自己株式数	25年２月期２Ｑ	638,673株	24年２月期	636,416株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期２Ｑ	20,189,748株	24年２月期２Ｑ	20,194,007株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（３）追加情報 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
参考情報 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、一部において緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、欧州の債務問題により世界景気に減速感が広がっていること、加えて中国などの新興国での経済成長も鈍化していることなどが、わが国の景気を下押しする懸念材料となっております。また、個人消費は緩やかな増加傾向にあるものの、厳しい雇用情勢とデフレ状況下を背景に景気回復感に乏しく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のもと、前事業年度の東日本大震災と地デジ化による特需の反動や夏場の猛暑といった天候の影響などにより、園芸農業・資材工具部門以外は減収となりましたが、第１四半期から引続き取り組んでおります商品施策にもとづいた農業および工具・資材マーケットの強化を図ったことにより、園芸農業・資材工具部門の販売は好調に推移いたしました。また、前事業年度に吸収合併した連結子会社のブックセンター事業の販売も売上増加に寄与いたしました。店舗につきましては、当第２四半期累計期間で、ホームセンター３店、イエローハット１店、ドラッグストア１店の開店と全面改装２店を実施いたしました。

当第２四半期累計期間の営業収益(売上高および営業収入)は242億２千１百万円、売上高は233億４千３百万円、営業収入は８億７千８百万円、営業利益は５億２千１百万円、経常利益は４億４千８百万円、四半期純利益は２億８百万円となりました。

第３四半期以降におきましては、移転増床１店、全面改装１店を予定しており、売上高の増加と、収益の向上に努めて参ります。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較し９億２千８百万円増加し、347億９千４百万円となりました。これは、主に現金及び預金２億１千８百万円の増加と、たな卸資産の季節的な増加３億５千８百万円などによるものです。

（負債）

当第２四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較し７億６千９百万円増加し、237億５千１百万円となりました。これは、主に仕入債務８億１千３百万円の増加と、短期借入金及び長期借入金１億５百万円の減少などによるものです。

（純資産）

当第２四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較し１億５千９百万円増加し、110億４千３百万円となりました。これは、主に四半期純利益による２億８百万円の増加と、その他有価証券評価差額金８百万円、剰余金の配当による４千万円の減少などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ２億１千８百万円増加し６億４千４百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間における営業活動による資金の増加は14億４千１百万円となりました。

主な要因は、税引前四半期純利益４億１千８百万円、仕入債務の増加８億１千３百万円、減価償却費６億２千４百万円等の非資金費用による資金の増加に対し、たな卸資産の増加３億６千万円等による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間における投資活動により支出した資金は９億２千２百万円の支出となりました。

主な要因は、有形・無形固定資産の取得による支出８億６千７百万円などによるものであります。支出の主な内容は、店舗の新規出店および改装等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間における財務活動による資金の減少は３億円となりました。

主な要因は、短期借入金２億円の純増額および長期借入金８億円の調達に対し、長期借入金11億５百万円、リース債務１億３千２百万円、割賦債務２千１百万円の返済および配当金の支払４千万円等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年４月６日決算短信において公表しました予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

当第１四半期会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年２月29日）	当第２四半期会計期間 （平成24年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	428,570	647,555
受取手形及び売掛金	113,780	141,603
商品	10,973,799	11,332,691
貯蔵品	21,503	23,006
その他	896,795	938,344
流動資産合計	12,434,449	13,083,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,684,026	23,290,632
減価償却累計額	△14,654,960	△14,853,767
建物及び構築物（純額）	8,029,066	8,436,864
土地	5,868,433	5,868,433
その他	4,140,215	4,221,005
減価償却累計額	△2,547,716	△2,784,277
その他（純額）	1,592,498	1,436,728
有形固定資産合計	15,489,998	15,742,026
無形固定資産	904,501	921,200
投資その他の資産	5,036,812	5,048,207
固定資産合計	21,431,312	21,711,433
資産合計	33,865,761	34,794,634
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,216,569	7,029,801
短期借入金	2,239,028	2,364,534
未払法人税等	121,733	253,390
引当金	348,106	393,652
その他	1,319,734	1,203,443
流動負債合計	10,245,172	11,244,822
固定負債		
長期借入金	9,234,723	9,003,275
退職給付引当金	1,923,777	1,981,452
引当金	－	5,700
資産除去債務	356,204	378,626
その他	1,221,759	1,137,434
固定負債合計	12,736,464	12,506,488
負債合計	22,981,637	23,751,310

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年２月29日）	当第２四半期会計期間 （平成24年８月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,224,255	4,224,255
資本剰余金	3,999,241	3,999,241
利益剰余金	2,767,470	2,935,485
自己株式	△111,636	△111,931
株主資本合計	10,879,331	11,047,052
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,792	△3,728
評価・換算差額等合計	4,792	△3,728
純資産合計	10,884,124	11,043,323
負債純資産合計	33,865,761	34,794,634

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）
売上高	23,343,155
売上原価	16,643,713
売上総利益	6,699,441
営業収入	878,205
不動産賃貸収入	231,699
業務受託収入	646,505
営業総利益	7,577,647
販売費及び一般管理費	7,055,717
営業利益	521,929
営業外収益	
受取利息	15,593
受取配当金	2,030
受取手数料	3,334
雑収入	32,817
営業外収益合計	53,776
営業外費用	
支払利息	117,079
雑損失	10,100
営業外費用合計	127,180
経常利益	448,525
特別利益	
補助金収入	100
受取保険金	2,566
特別利益合計	2,666
特別損失	
固定資産除却損	24,408
固定資産圧縮損	1,662
投資有価証券評価損	768
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,700
特別損失合計	32,538
税引前四半期純利益	418,653
法人税、住民税及び事業税	225,085
法人税等調整額	△14,840
法人税等合計	210,245
四半期純利益	208,408

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	418,653
減価償却費	624,603
賞与引当金の増減額（△は減少）	40,195
退職給付引当金の増減額（△は減少）	57,674
受取利息及び受取配当金	△17,624
支払利息	117,079
有形及び無形固定資産除却損	24,408
固定資産圧縮損	1,662
補助金収入	△100
受取保険金	△2,566
売上債権の増減額（△は増加）	△27,822
たな卸資産の増減額（△は増加）	△360,394
仕入債務の増減額（△は減少）	813,231
その他	△42,067
小計	1,646,933
利息及び配当金の受取額	4,330
利息の支払額	△118,575
補助金の受取額	100
保険金の受取額	2,566
法人税等の支払額	△93,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,441,981
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△867,871
貸付金の回収による収入	11,428
その他	△65,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△922,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	200,000
長期借入れによる収入	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,105,942
リース債務の返済による支出	△132,960
割賦債務の返済による支出	△21,133
自己株式の取得による支出	△327
自己株式の売却による収入	22
配当金の支払額	△40,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,846
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	218,984
現金及び現金同等物の期首残高	425,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	644,555

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

参考情報

当社は、平成23年９月１日付けで連結子会社であるジャスト商事株式会社を吸収合併し、非連結決算会社となっております。従って、前第２四半期までは四半期連結財務諸表を作成しております。前第２四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は以下のとおりであります。

四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）
売上高	24,241,336
売上原価	17,262,057
売上総利益	6,979,278
営業収入	897,869
不動産賃貸収入	239,366
業務受託収入	658,503
営業総利益	7,877,147
販売費及び一般管理費	6,945,654
営業利益	931,493
営業外収益	
受取利息	14,698
受取手数料	3,510
その他	23,945
営業外収益合計	42,154
営業外費用	
支払利息	114,910
その他	13,436
営業外費用合計	128,346
経常利益	845,301
特別利益	
固定資産売却益	3
投資有価証券売却益	1,400
その他	31
特別利益合計	1,434
特別損失	
固定資産売却損	8,012
固定資産除却損	26,298
投資有価証券評価損	840
減損損失	53,461
賃貸借契約解約損	715
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	173,490
特別損失合計	262,818
税金等調整前四半期純利益	583,918
法人税、住民税及び事業税	397,943
法人税等調整額	△34,064
法人税等合計	363,879
少数株主損益調整前四半期純利益	220,038
四半期純利益	220,038